

温泉地とリモートワーク、官・民の 地域づくりの立場での課題と提言-1

2021年5月18日



公益財団法人 **日本交通公社**
地域戦略室長/上席主任研究員

守屋 邦彦

1. 休暇旅行中の業務経験者の概要

2. 休暇旅行中の業務経験者の訪問先など

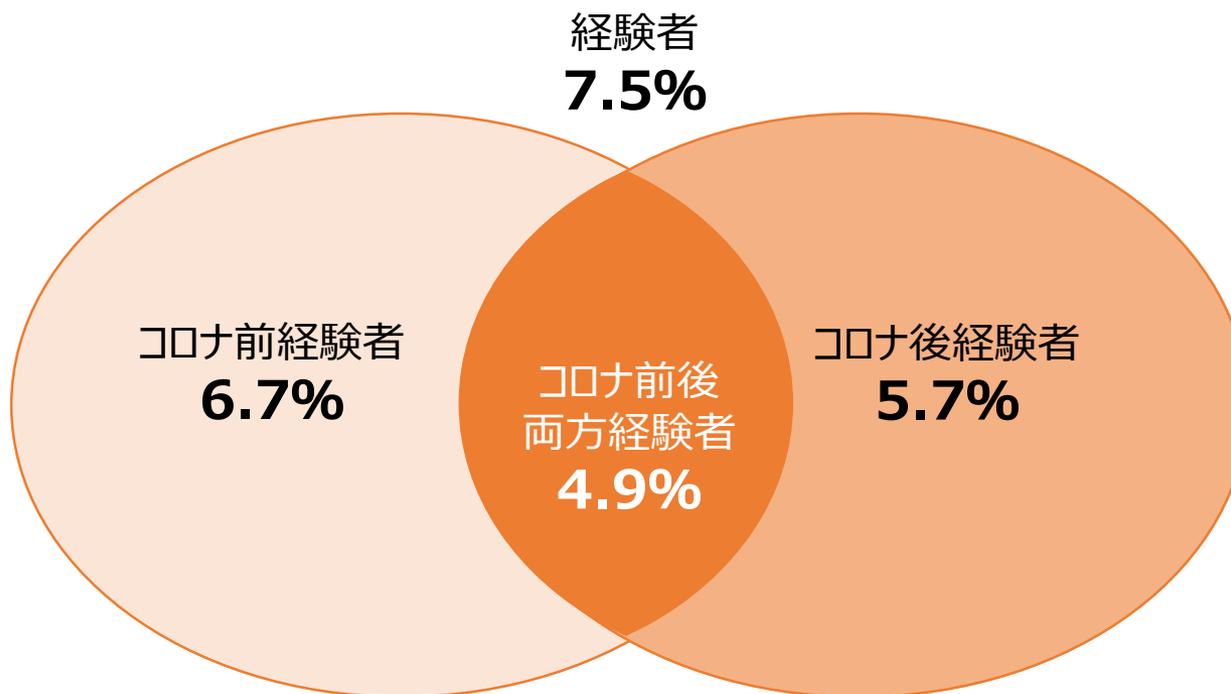
3. まとめ

1. 休暇旅行中の業務経験者 の概要

休暇旅行中の業務経験者の概要(スクリーニング調査より)

設問：あなたは休暇の旅行中に業務(いわゆるワーケーション)を行ったことがありますか(※本格的な業務(会議出席や資料作成等)実施のみ)

回答者全体 (100%) n=18,511人



経験者→2019年1月～現在での経験者

※コロナ前 (2019年1月～2020年3月)

※コロナ後 (2020年4月以降)

出典：(当財団実施) 休暇旅行中の業務経験に関する調査

- ・調査対象者条件：下記を除く全国の20歳～69歳の男女
 - * 除外対象：パート・アルバイト、家事専業、学生、無職
- ・回収サンプル数：スクリーニング調査18,511サンプル、本調査300サンプル
- ・調査期間：2021年3月25日(木)～26日(金)
- ・調査手法：インターネット調査(株式会社クロス・マーケティングの回答者パネルを利用)

休暇旅行中の業務経験者の概要(スクリーニング調査より)

若い世代(30代以下)で全体の半数以上

→これからの旅行マーケットで活発に実施

年代(休暇旅行中の業務経験者)

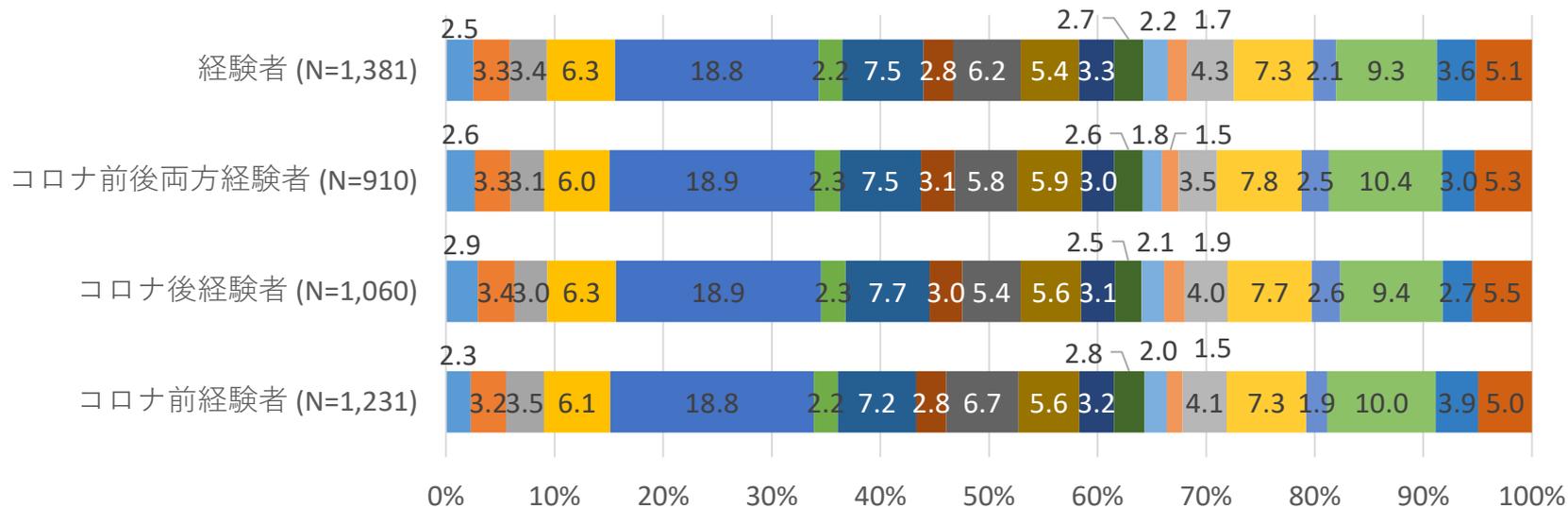


休暇旅行中の業務経験者の概要(スクリーニング調査より)

幅広い業種で経験者が存在

→休暇旅行中の業務の必要性は様々な業務で発生

業種 (休暇旅行中の業務経験者)



- 農業, 林業
- 漁業
- 鉱業, 採石業, 砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業, 郵便業
- 卸売業, 小売業
- 金融業, 保険業
- 不動産業, 物品賃貸業
- 学術研究, 専門・技術サービス業
- 宿泊業, 飲食サービス業
- 生活関連サービス業, 娯楽業
- 教育, 学習支援業
- 医療, 福祉
- 複合サービス事業
- サービス業 (他に分類されないもの)
- 公務 (他に分類されるものを除く)
- 分類不能の産業

2. 休暇旅行中の業務経験者 の訪問先など



本調査対象者(300名)の概要

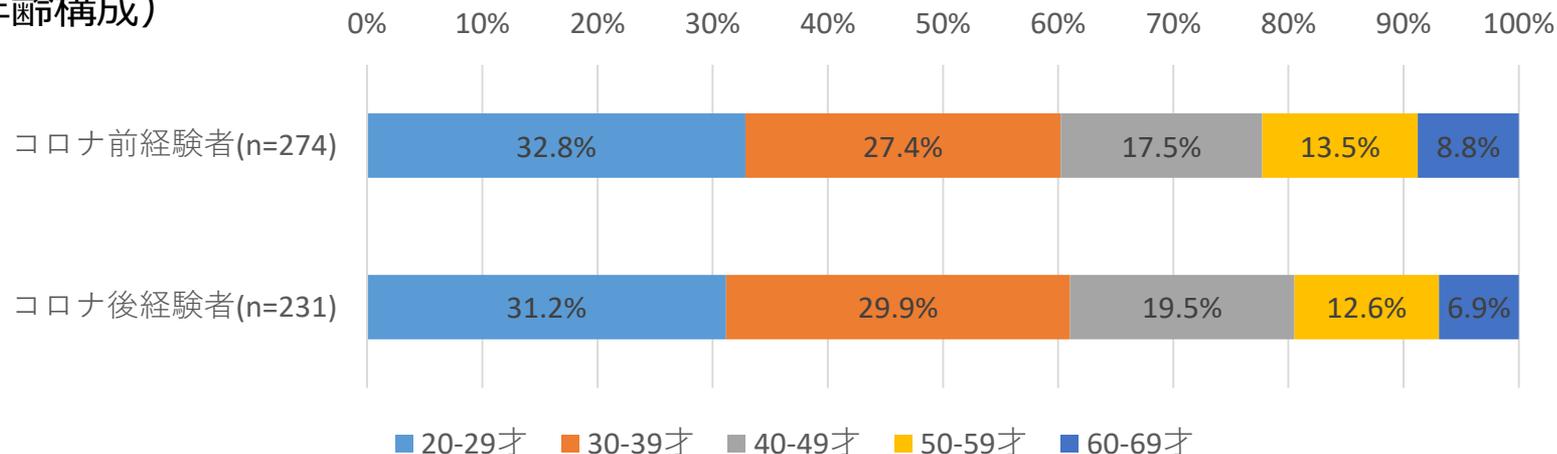
●回答者全体 (100% = 300人)

(休暇旅行中の業務経験者の割合)

- コロナ前の休暇旅行中の業務経験者 : 91.3%
- コロナ後の休暇旅行中の業務経験者 : 77.0%
- コロナ前後両方の経験者 : 68.7%

スクリーニング調査と
構成は大きく変わらず

(年齢構成)



経験者→2019年1月～現在での経験者

※コロナ前 (2019年1月～2020年3月)

※コロナ後 (2020年4月以降)

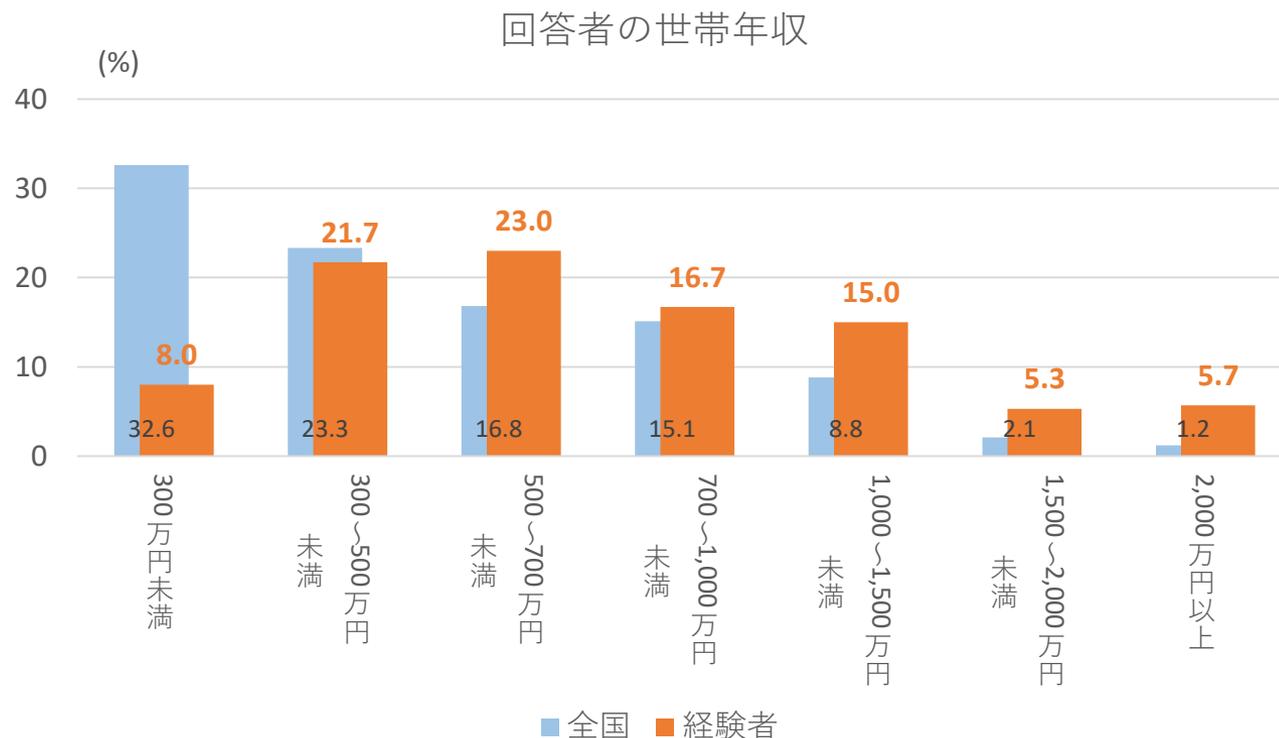
出典：(当財団実施) 休暇旅行中の業務経験に関する調査

- ・調査対象者条件：下記を除く全国の20歳～69歳の男女
 - * 除外対象：パート・アルバイト、家事専業、学生、無職
- ・回収サンプル数：スクリーニング18,511サンプル、本調査300サンプル
- ・調査期間：2021年3月25日(木)～26日(金)
- ・調査手法：インターネット調査(株式会社クロス・マーケティングの回答者パネルを利用)



本調査対象者(300名)の概要

休暇旅行中の業務経験者の世帯年収は比較的高い方が多い



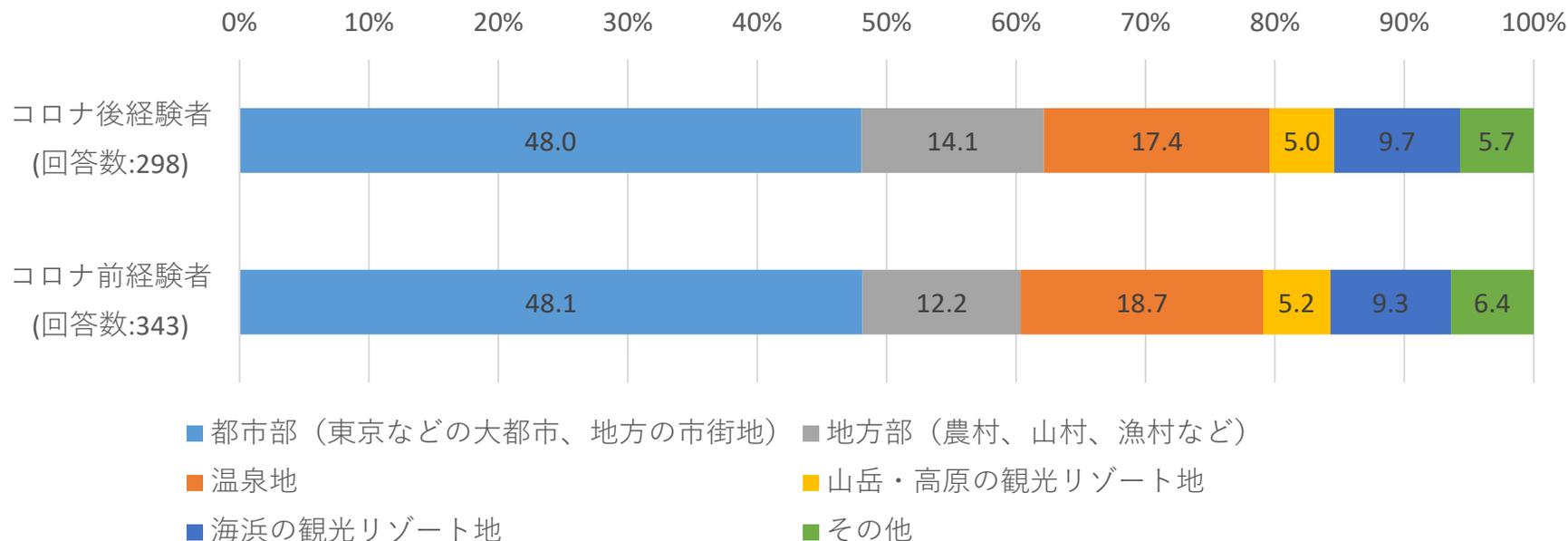
* 全国は、「国民生活基礎調査（2019年調査）」（厚生労働省）の数値

休暇旅行中に業務を実施した際の旅行先

5割弱が「都市部での実施」、2割弱が「温泉地」

- コロナ前後で旅行先はそれほど大きく変わっていない
- 温泉地は「業務もできる滞在先」

休暇旅行中に業務を実施した際の旅行先



※複数回答（一人が大都市も温泉地も選択など）があるため、回答数が回答者数(300)を越えるケースもある

休暇旅行中に業務を実施した際の旅行先(温泉地詳細)

「箱根」「草津」「別府」「有馬」など有名温泉地が挙がる

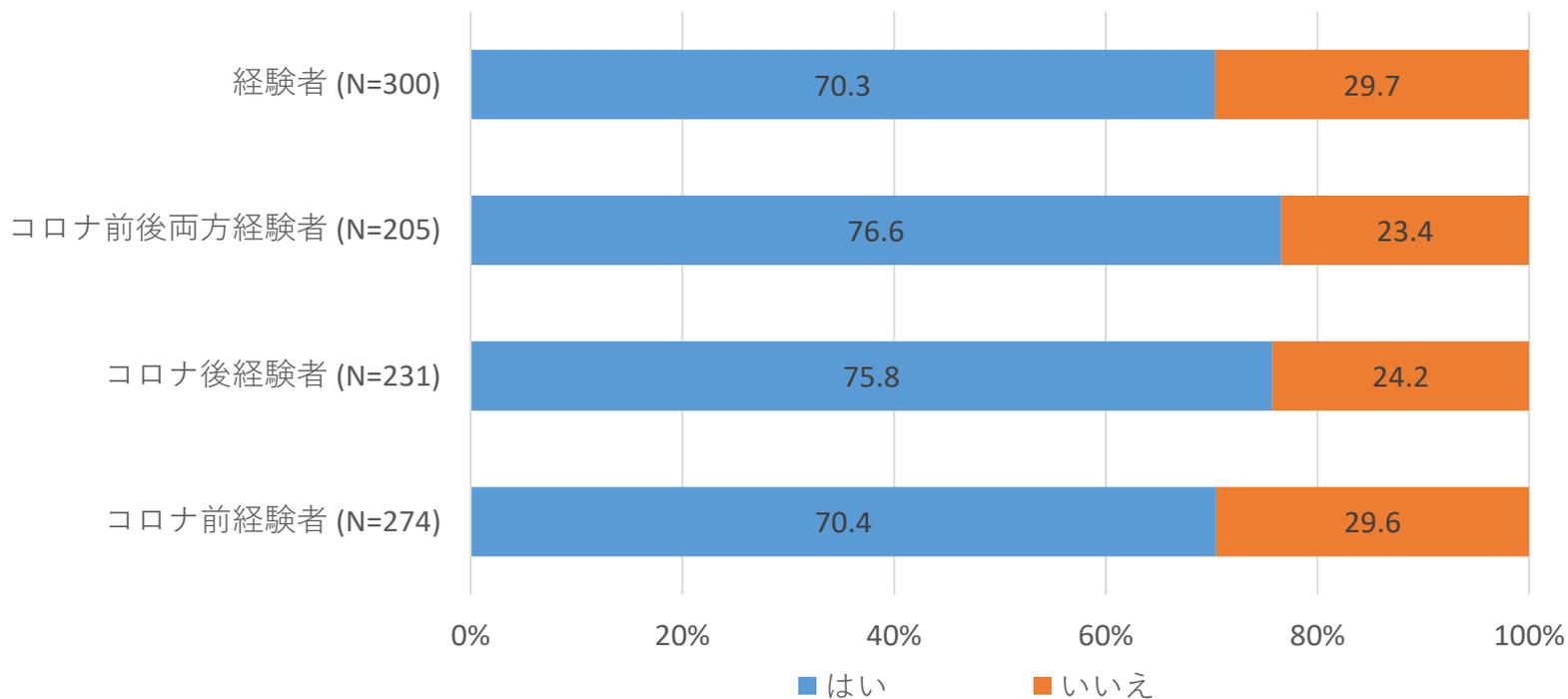
北海道	北海道 (1) 帯広市 (1)	岐阜県	下呂温泉 (3) 高山 (1) 岐阜 (1)
宮城県	松島 (1)	静岡県	熱海 (3) 伊東 (2) 伊豆の国市 (1) 伊豆 (1)
山形県	新庄 (1)	兵庫県	有馬温泉 (5) 城崎 (3)
栃木県	鬼怒川 (2) 日光 (1)	和歌山県	白浜 (1)
群馬県	草津 (4) 群馬 (3) 群馬県 (1)	鳥取県	鳥取県皆生温泉 (1)
埼玉県	秩父 満願の湯 (1)	岡山県	湯郷温泉 (1)
神奈川県	箱根 (7) 湯河原 (3) 大涌谷 (1)	愛媛県	道後温泉 (1)
石川県	金沢 (1) 山中温泉 (1)	大分県	別府温泉 (6) 由布院 (3)
山梨県	石和温泉 (1)	その他	有名名所 (1)
長野県	長野 (1) 軽井沢 (1) 湯田中温泉 (1)		

今後の実施意向

コロナ後経験者の「今後の実施意向」は75.8%

→コロナ禍以降に実施していると、今後の意向は高い

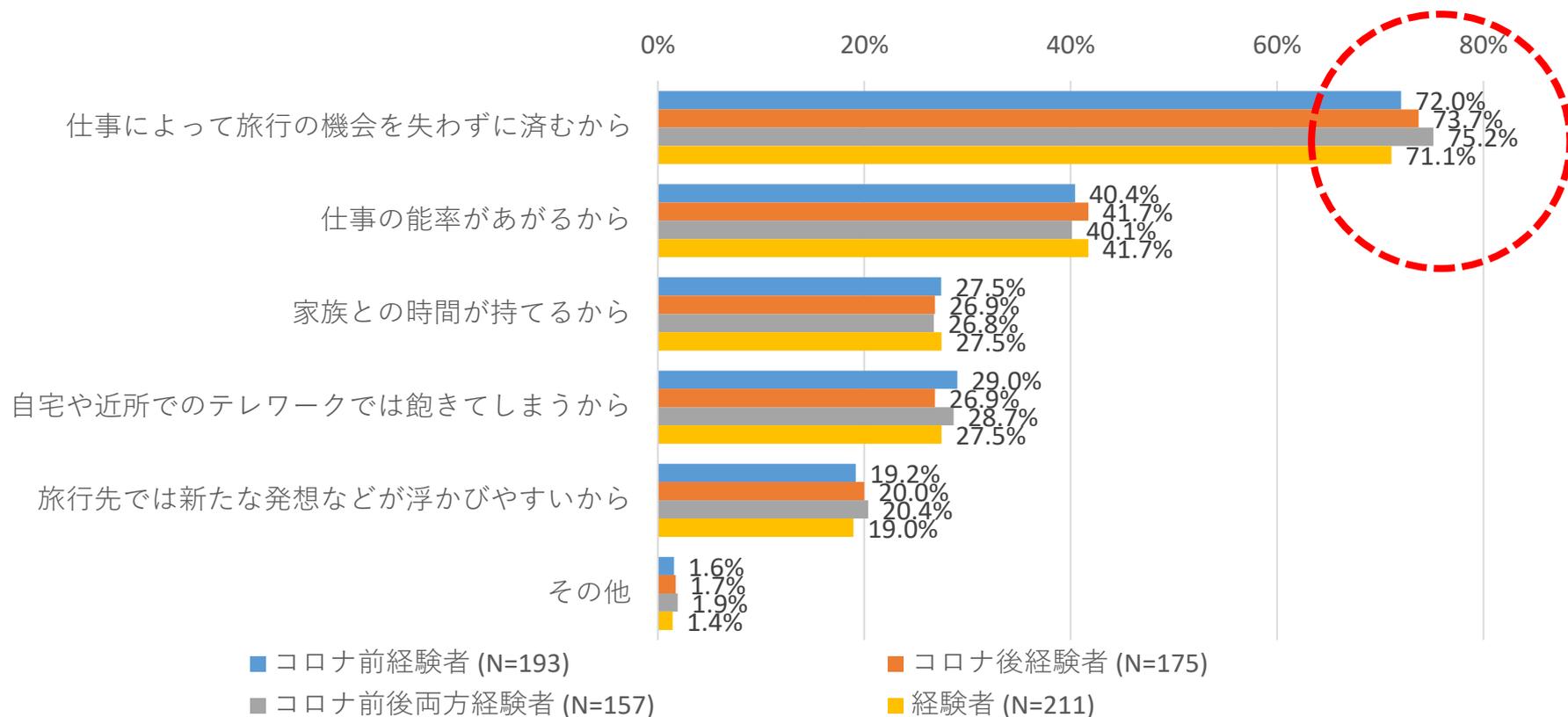
今後の、休暇の旅行中に業務を行う事への意向



今後も実施したい理由

コロナ後の実施経験により、旅行の機会を失わずに済むことを実感した人が増加

今後も、休暇の旅行中に業務を行いたい理由

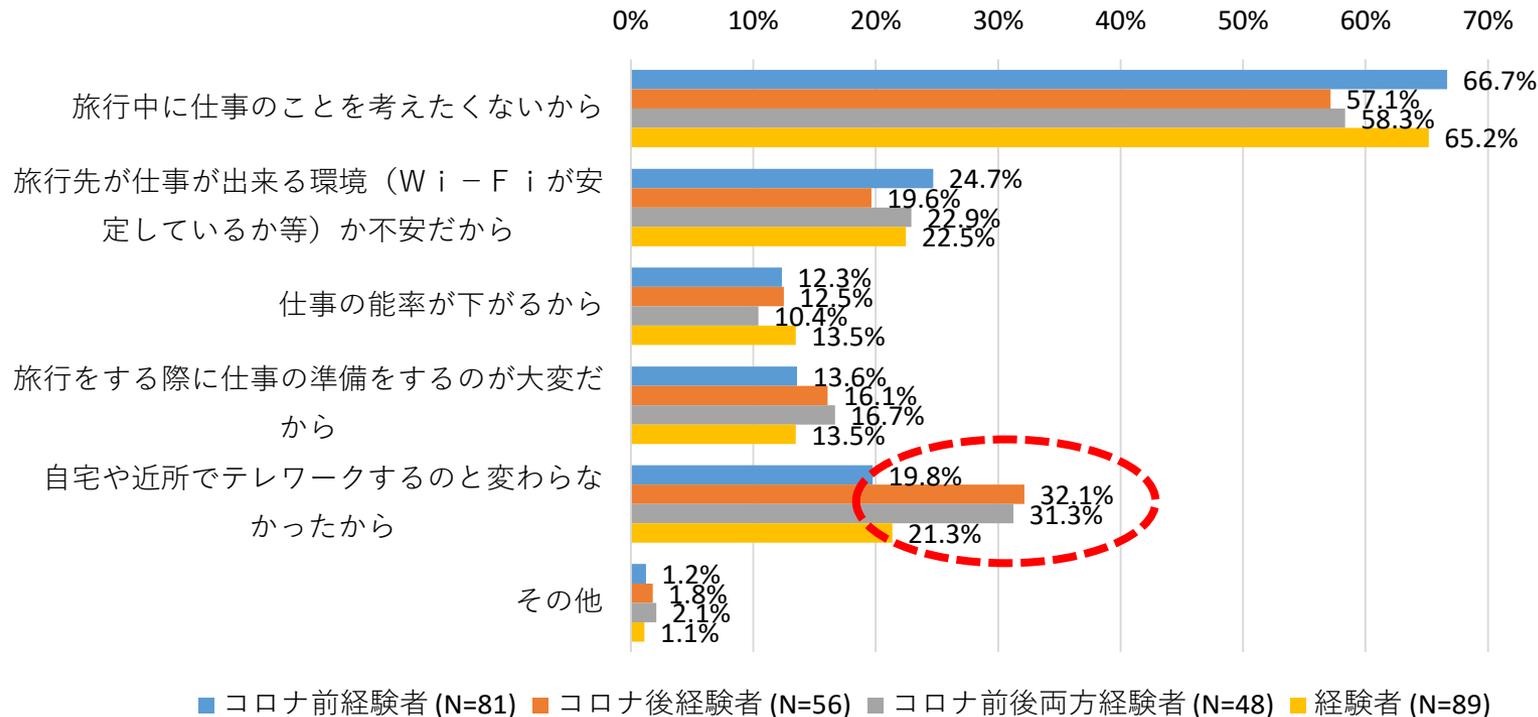


今後は実施したくない理由

コロナ後の実施経験者で、「自宅でテレワークするのと変わらなかったから」が増加

→旅行先でどんな「普段とは異なる経験」が出来るかも大事

今後は、休暇の旅行中に業務を行いたくない理由



3. まとめ

まとめ

- ◆「休暇旅行中に業務」を行ったことがある人は、5～10%程度。若い人の割合が高い。年収は比較的高め。
- ◆コロナ以前から「休暇旅行中に業務」を行う人は存在。（コロナ禍で注目が集まり、やりやすくなった面はあったものと想定）
- ◆温泉地は「業務もできる滞在先」として一定の認識（経験）がされていると想定。
- ◆業務が滞りなく出来る環境は必須だが、+アルファが無ければ「家でのテレワーク」と同じ。

**観光地（温泉地）において
「滞在することの価値」を地域全体で創出していく
ことが重要**